

平成27(2015)年度 運営に関する計画 最終評価シート

研究部

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【学力の向上】 ○「読むこと」を楽しみ、豊かに表現できる子どもを育てる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 (カリキュラム改革関連)	指標 校内国語アンケート「国語の学習は好きですか」の項目において、「好き」「どちらかというとき」と答える児童比率を、年度当初より5%向上させる。	B
取組内容②【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 (カリキュラム改革関連)		
指標 平成27年度「しんだん」の無答率を、平成26年度より2ポイント減少させる。		A
取組内容③【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 (カリキュラム改革関連)	指標 平成27年度「しんだん」の「言語事項」について、本校平均正答率とし市平均との差を、前年度より縮める。	A
取組内容④【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 (カリキュラム改革関連)		
指標 児童の年間読書量を平成26年度より5%向上させる。		B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
①国語好きな子どもを育てる取り組みを進めた結果、「どちらかというとき」から「好き」と答える子どもが増えた。しかし、総数に大きな変化が見られなかった。		
②③④漢字学習・読書活動を中心に取り組みを進め、学力向上・学習意欲向上につながる結果が出た学年が多くあった。		
次年度への改善点		
○漢字学習・読書活動を継続させる。		
○全国学力テストやしんだんなど、初見の文や書くことへの抵抗感を克服させる。		
○各教科の教科書などをスピーディにスラスラと音読できるようにしたり、視写を積極的に導入したりするなど家庭学習とのつながりを考えて読解力をさらに向上させる。		